

令和4年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・昨年度の課題であった、「主体的に取り組む態度」の数値に改善が見られた。本校の特色である「多摩川の学習」で身近に見られる動植物の採取、観察等を通して自然と密接に関わりながら学習したことで自然現象について関心を高めることができた。

(2) 課題

- ・「物質・エネルギー」の領域において全国の平均正答率と比べると、ポイントが下回っている。課題の設定、仮説、実験（観察）結果、まとめ、考察のサイクルを共有する。習得、活用、探究の3つを系統だて、段階をおっていくことで改善していく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 正答率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	目標値、区平均正答率をやや上回っている。全国平均正答率よりはやや下回っている。 (第4学年時)	/	/
第5学年	目標値、区平均正答率をやや上回っている。全国平均正答率よりはやや下回っている。 (第5学年時)	目標値、区平均正答率、全国平均正答率とほぼ同等である。 (第4学年時)	/
第6学年	目標値、区平均正答率をやや上回っている。全国平均正答率はほぼ同等である。 (第6学年時)	目標値、区平均正答率、全国平均正答率をやや上回っている。 (第5学年時)	目標値、区平均正答率、全国平均正答率をやや下回っている。 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<4年生> ・観察・実験の技能の平均正答率は全国平均正答率をやや下回るものの、目標値、区平均正答率をわずかに上回っている。 ・特に磁石の性質、電流（回路）についての知識・技能の平均正答率は、目標値を	<4年生> ・平均正答率は目標値、区平均正答率をやや上回っているが、全国平均正答率より下回っている。 ・太陽と地面のようすについての思考・判断・表現の平均正答率は、前年度以上に目標値を下回っている。磁	<4年生> ・平均正答率は目標値、区平均正答率、全国平均正答率より上回っている。 ・物の重さ、磁石の性質について、主体的に学習に取り組む態度は、目標値を下回っている。

下回っている。また、方位磁針の使い方については、目標値を達しているものの、昨年度を大きく下回っている。	石の性質、電気を通さない物質についての思考・判断・表現は、目標値を下回っている。	
---	--	--

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 校内平均正答率は目標値、区平均正答率より上回っているが、全国平均正答率より下回っている。 生命、地球の各領域については、知識・理解の平均正答率は目標値、区、全国平均正答率を上回っている。 	<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は目標値、区平均正答率より上回っているが、全国平均正答率より下回っている。 	<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 校内の平均正答率が、目標値よりも低く、さらに区、全国の平均正答率よりも下回っている。
<p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 知識・技能の平均正答率は目標値、区の平均正答率より上回っている。が全国の平均正答率よりやや下回っている。 物質・エネルギー、生命・地球の各領域については、目標値、区、全国平均正答率と同等である。 	<p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 思考・判断・表現の平均正答率は目標値、区、全国平均正答率よりやや上回っている。 	<p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習に取り組む態度の平均正答率は目標値、区、全国平均正答率よりやや上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 実験では、用具や材料の使い方や特徴、注意事項について、よく理解できるまで説明し、練習させた上で使用するようになる。また、正しい知識を基に、正しい手順で実験を行い、結果の確認、考察を行うことで知識・技能の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもち、実際に実験を行ったり、友達の意見を聞いたりすることで、考えを深めることを目指す。そのことによって得た情報を、ノートやワークシートに書くことで、整理し、既習事項と結び付ける力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 実体験を通じた学習を行うことで、主体的な態度の向上を目指す。また、多摩川活動を通して、より自然を身近に感じ、関連した学習への意欲喚起を目指す。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項や日常で得た知識を基に、新たな問題を解決する手段として活用することで知識の定着を図る。 可能な限り実験を全員が行えるようにし、技能の向上を図る。 器具や機器などを目的に応じて、正しく使用できるように、ICT教材を活用し、繰り返し指導して知識の習熟を図る。 <p><第6学年></p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項や日常で得た知識を、学習課題を解決する手段として活用することで知識の定着を図る。 可能な限り、実験を全員が行えるようにし、実験や観察に使う器具の正しい使い方について身に付け、技能の向上を図る。 	<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 予想や仮説を立てる時間を確保し、解決の方法を発想することで、問題解決の力を身に付ける。 「変える条件」「変えない条件」に着目し、条件を制御して実験計画を考える。 図やグラフを用いて実験結果をまとめるなどして、多様な方法で考え方を言葉で説明できるようにする。 <p><第6学年></p> <ul style="list-style-type: none"> 実験單元では、「問題」→「予想」→「実験」→「結果」→「考察」の流れを定着させ、事象を正しく見取る力、根拠を説明できる力を身に付ける。 観察や実験で分かったことを言葉や図・グラフを用いて、観察カードやノートに分かりやすく表現できるようにする。 	<p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩川の自然を生かし、自然と密接に関わりながら学習を進めることで、意欲的に学習に取り組めるようにする。 植物の栽培や生物の飼育を年間通して行い、児童が主体的に追究していくことができるように意図的な活動の場を設けることで、生物への関心や意欲を高める。 実際に観察が難しいものも動画教材などを用いて、意欲的に学習に取り組むことができるようにする。 <p><第6学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、学習資料を充実・補完することで、興味関心を高める。 どうすれば学習課題を解決できるかを考えさせ、実験や観察など、主体的に計画を立てて学ぶことができるようにする。